

第14回 IIN 公開例会

2025. 12.. 20(土) おにクル 1F きたしんホール

参加者数: 141名(うち会員 35名)

12月20日、おにクル「きたしんホール」にて第14回 IIN 公開例会が開催されました。今回は二部構成で行われ、第一部では IIN メンバーによる「茨木の歴史」の英語プレゼンテーション、第二部では牟田口章人先生による講演「藤原鎌足は阿武山に眠る！」が行われました。

鎌足への高い関心と期待で、メールでの申込を行った所、募集人数を上回る140名超の参加をいただき、会場は終始熱気に包まれました。

「本当に良い会だった」「もっと聞いていたかった」という声が数多く寄せられる、大変充実したものとなりました。

姉妹都市活動室(IIN)
第14回公開例会

プログラム

第1部 14:00~ 「茨木の歴史を紹介」

茨木の歴史を外国の方にも伝えたい！
『いはらきの郷土かるた』で紹介する、姉妹都市活動室
会員による英語でのプレゼンテーションです。



第2部 14:45~16:00

講演: 牟田口章人氏

「藤原鎌足は阿武山に眠る！」

古代史の政治家・藤原鎌足が北畠の阿武山に
葬られた謎に迫ります。



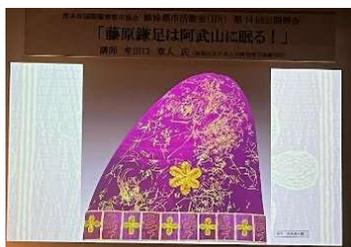
玉枕

大織冠

第二部:「藤原鎌足は阿武山に眠る！」牟田口章人先生



牟田口章人先生のご講演は、スライドが非常に分かりやすく構成され、専門的な内容でありながら理解しやすいと大好評でした。豊富なスライドによるビジュアル化は理解の大きな助けとなり、参加者の皆さんが最後まで集中して耳を傾けておられる様子が印象的でした。



「もう終わりなの？と感じるほど引き込まれました。」「もっとお話を聞きたかった」という声も多く寄せられています。長年にわたる研究成果を惜しみなく共有していただき、貴重な映像資料も含め、まさに知的好奇心を刺激されるひとときでした。また、先生ご自身がプレゼンテーションを心から楽しんでいる様子が伝わり、その楽しさが会場全体に広がっていたことも、参加者を惹きつけ続けた大きな要因だったように思われます。

講演内容への関心

京大内部の対立や、長年手つかずの状態でも保管されていたレントゲン資料発見時の映像、さらには久米宏さんの「ニュースステーション」の映像まで、元記者として取材された当時の貴重な映像を織り交ぜながら、「藤原鎌足は阿武山に眠る！」というテーマを科学的根拠に基づいて解き明かす、時空を超えて展開されるお話はまさに圧巻でした。

「テレビドラマになりそう」「1200年経っても、なぜそんなに保存状態が良かったのか、もっと知りたい」といった声もあり、講演後に鑑賞させて頂いた「玉枕」や「大織冠」(※ミニ大織冠の作り方を下部に掲載)には長い列ができ、参加者は余韻を楽しんでおられました。



最後に

公開例会開始後も次々と来場者があり、受付を継続していて良かったと感じる場面がありました。また、以前講師としてお越しいただいた S 様が今回もご来場くださり、IIN の公開例会活動を応援してくださっていることを感じられたことは、スタッフ一同大きな励みとなりました。一方で、事前に配布していた資料の部数が会場で不足してしまい、一部の参加者にご不便をおかけしたことをお詫び申し上げます。

ご参加いただいた皆さま、そして準備・運営に携わってくださった方々に、心より感謝申し上げます。

牟田口先生からは、「もう少し喋りたかったなあ」とのお言葉もあり、鎌足にはまだまだ多くのロマンが秘められていることを感じさせられる例会となりました。

今後ますますのご活躍をお祈りするとともに、またお話を伺える日を楽しみにしております。



Thank you for all your effort, dedication, and contribution !

● 歴史と国際交流に興味のある方、どなたでも大歓迎！

第14回 茨木市姉妹都市活動室 (IIN) 公開例会



牟田口章人 氏

元帝塚山大学教授 帝塚山大学考古学研究所学術研究員

「藤原鎌足は阿武山に眠る！」

令和7年12月20日(土)

茨木市文化・子育て複合施設
おにクル 1F きたしんホール

開場 13:30

開演 14:00 (終演 16:00 予定)

【プログラム】

第1部 「茨木の歴史を英語で紹介」(姉妹都市活動室によるプレゼンテーション)

第2部 講演: 牟田口章人氏

「藤原鎌足は阿武山に眠る！」

令和4年7月、本例会で「阿武山古墳に眠るミイラの貴人という」講演がありました。演者の牟田口さんは、その後も研究を進め、去年(令和6年)、阿武山古墳の棺の中にあつた布製の冠が藤原鎌足だけが授けられた大織冠の可能性が極めて高くなったことを発表。新聞で大きな話題となりました。今回は、最新研究をお話いただき、古代史の英雄・藤原鎌足が茨木出身で、北摂の阿武山に葬られた謎を解いていただきます。

<講師プロフィール>

- 1974年: 早稲田大学 教育学部 卒業(学士)
- 1974~2014年: 朝日放送株式会社 勤務。※在職中の1982年から阿武山古墳の調査研究を開始
- 2014~2021年: 帝塚山大学 教授
- 現在: 帝塚山大学考古学研究所 学術研究員

著書等・阿武山古墳に特化します

テレビ番組・ミイラは藤原鎌足か 文化の日特別番組 朝日放送 1987年11月3日放送等多数

著書・『蘇った古代の木乃伊—藤原鎌足—』共著 1988年 小学館

『藤原鎌足と阿武山古墳』共著 2015年 吉川弘文館

論文・

2019年 阿武山古墳の発見経過-帝塚山大学考古学研究所研究報告 XXI

2020年 阿武山古墳調査概史-帝塚山大学考古学研究所研究報告 XX II

2020年 玉枕再考 「GLASS」日本ガラス工芸学会紀要

2023年 百濟・日本・唐における衣冠の埋納と献納 帝塚山大学日本文化史研究 54号

2023年 阿武山古墳採取遺物の分析-毛髪を中心として-帝塚山大学考古学研究所報告 XX V

2024年 冠帽再考

主催: 茨木市姉妹都市活動室 (IIN)

姉妹都市活動室 (IIN) は茨木市国際親善都市協会 (IFAI) に属するボランティア活動団体です。

詳しくはホームページをご覧ください→ <http://ibaraki-city-iin.com>

ミニ大織冠を作ろう！

牟田口章人監修

2025/12/20



埋葬当時の棺内復元

ミニ大織冠

復元玉枕

下図を切り抜き
右図の灰色部分を残し
折ってから糊付けし
左右を貼り合わせる
縁は2枚を重ね合わせ
本体に貼ると
厚みが出る

